

環生ー1 環境学習会等に専門の講師を派遣します ～北海道地域環境学習講座 eco-アカデミア～

道では、道民の皆様が環境問題に関する学習会等を開催する際に、環境の各分野で活躍されている専門家をトレーナー（講師）として派遣しています。

トレーナーへの謝金と旅費は道が負担しますので、学習会等の開催を検討されている方はお気軽にお問い合わせください。

○開催できる団体

道内の住民団体、自治会、PTA、こどもエコクラブ、学校、幼稚園など

○講座条件等

- ・開催目的が営利活動や宗教活動、政治活動とするものは対象外です。
- ・参加者40人以上、講座時間は概ね2時間、誰でも参加できることが原則です（学校、幼稚園等が開催する場合はこの限りではありません）。
- ・トレーナーの派遣に要する経費（謝金、旅費）は道が負担します。

○詳細は環境政策課のHPをご覧ください。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/ksk/academia/index.htm>

【お問い合わせ先】

環境生活部環境局環境政策課

電話 011-231-4111(内線24-222)

直通 011-204-5188

FAX 011-232-1301

環生一2 PCB廃棄物の期限内処理について

PCBを含む電気機器（変圧器、コンデンサ、蛍光灯安定器（家庭用除く））などが廃棄物となったもの（PCB廃棄物）は、処理期限が決められており、現在使用中であっても、期限までに使用を中止し、適正に処分しなければなりません。

また、PCB廃棄物を保管している場合及びPCBを含む電気機器を使用している場合は、それぞれ所管する行政機関に届出を行う義務があります、

あなたが所属する事業所などで現在使用している電気機器、電気室、キュービクル・倉庫などに保管されている電気機器にPCBを含むものがないか点検を行い、届出されていない電気機器がある場合は、速やかに届出を行ってください。

詳しくは以下のホームページを参考にしてください。

↓（アドレスはこちら）

「PCB廃棄物処理」（北海道）のページ

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/top_page/pcb.htm

「PCB含有廃電気機器等の処理について」（電気機器等のメーカーの問合せ窓口）

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/top_page/pcbpanyukiki.htm

【問い合わせ】

環境生活部環境局循環型社会推進課

電 話 011-231-4111（内線24-325）

FAX 011-232-4970

環生一3 水銀廃棄物の適正処理について

平成29年10月1日以降、水銀廃棄物について新たな対応が必要になりました。

事業所から排出される蛍光灯、水銀体温計、水銀式血圧計などは「水銀使用製品産業廃棄物」として、許可のある産業廃棄物処理業者に委託しなければなりません。

また、水銀を一定以上含む汚泥やばいじん等の産業廃棄物（「水銀含有ばいじん等」といいます。）も同様となります。

なお、水銀を相当の割合以上含有するものは、あらかじめ水銀を回収することが義務付けられたことから、処理を委託する場合には注意が必要となります。

環境省 URL：<http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/>

北海道 URL：http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/jss/sanpai_1/suigin.htm

【問い合わせ】

各（総合）振興局保健環境部環境生活課

または

環境生活部環境局循環型社会推進課

電 話 011-231-4111（内線24-325）

FAX 011-232-4970

環生－４ 自然公園等における自動車、スノーモビル、モーターボートなどの乗入れ規制について

自然環境がすぐれた地域でのオフロード車やスノーモビルなどの無秩序な使用による動植物の生息・生育環境への悪影響を防止するため、国立公園、国定公園、道立自然公園の一部の区域と原生自然環境保全地域では「自動車等」の乗入れが規制されています。

- 自動車等の乗入れが規制される地区(道路、広場、田、畑、牧場、宅地を除く)
 - ・ 国立公園、国定公園の「特別保護地区」
 - ・ 国立公園、国定公園及び道立自然公園の「車馬等乗入れ規制地区」
 - ・ 自然環境保全法に基づく「原生自然環境保全地域」

※道内の自然環境を保全するため、上記の規制区域以外にも国有林などで乗入れの規制等がなされている場所があります。

- 乗入れ規制の対象となる自動車等（主なもの）
 - ・ 自動車、オートバイ、スノーモビル、自転車、荷車、馬など
 - ・ 動力船（モーターボートなど（2馬力以下の船外機や電気推進機を含む））
 - ・ 航空機、ヘリコプターなど

- 参考ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/hureai/noriirekisei/top.htm>

【問い合わせ】

- ・ 国立公園及び原生自然環境保全地域に関すること
 - ・ 環境省北海道地方環境事務所国立公園課
電話 011-299-1953
 - ・ 各国立公園の環境省自然保護官事務所
- ・ 国定公園、道立自然公園に関すること
 - ・ 環境生活部環境局生物多様性保全課自然公園グループ
電話 011-204-5204
 - ・ 各総合振興局・振興局保健環境部環境生活課
自然環境係又は主査(自然環境)

環生－５ 自然公園内の規制について

国立公園、国定公園及び道立自然公園は、すぐれた自然の風景地を保護するために指定されています。そのため、自然公園区域内での産業活動などに伴う行為に対しては、様々な制限があります。

例えば、次のような行為を行う場合は、許可や届出が必要です。

- 建物や道路などの工作物の新築や増・改築
- 木竹の伐採や高山植物の採取
- 土や砂利などの採取
- 看板などの広告物や記念碑の設置
- 土地の形状を変える行為 など

また、自然公園の一部には、動植物の生息・生育環境への悪影響を防止するため自動車やスノーモビル、モーターボートなどの乗り入れが規制されている地区があります。

○ 参考ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/kouenkisei2807.pdf>

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/hureai/noriirekisei/top.htm>

【問い合わせ】

• 国立公園に関すること

- 環境省北海道地方環境事務所国立公園課
電話 011-299-1953
- 各国立公園の環境省自然保護官事務所

• 国定公園、道立自然公園に関すること

- 環境生活部環境局生物多様性保全課自然公園グループ
電話 011-204-5204
- 各総合振興局・振興局保健環境部環境生活課
自然環境係又は主査(自然環境)
(野幌森林公園は、北海道博物館総務部主査(公園利用))

環生－6 外来種による被害を防止するために－1 (外来種は「入れない」、「捨てない」、「拡げない」)

外来種とは、アライグマやウチダザリガニなど、生物本来の移動能力を超えて、国内・国外の他の地域からペットや産業利用などのため、人によって導入された生物種です。

近年、この外来種が地域固有の生態系などに大きな脅威となる事例が、国内外でクローズアップされており、これら外来種による被害を防止するため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(外来生物法)が制定され、平成17年6月から施行されています。

外来種のうち、生態系や人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼす(または、おそれのある)侵略的な外来種については、外来生物法に基づき「特定外来生物」に指定され、原則として、飼養、栽培、保管及び運搬が禁止されています。

詳しくは、環境省のホームページ(<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>)をご覧ください。

また、道では、北海道生物の多様性の保全等に関する条例に基づき外来生物法で対象としていない国内由来の外来種を含む12種(詳しくは、下記のホームページを参照してください)を「指定外来種」に指定し、野外に「指定外来種」を放つ行為などを禁止しました(平成28年6月19日施行)。

なお、「特定外来生物」や「指定外来種」などに指定されていない外来種であっても、生態系などに影響を及ぼす場合があります。動物や植物など外来種は「入れない」、「捨てない」、「拡げない」が基本です。

北海道の外来種対策については、生物多様性保全課のホームページ(<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/index.htm>)をご覧ください。

【問い合わせ】

○外来生物法について

環境省北海道地方環境事務所 野生生物課
電 話 011-299-1954

○指定外来種及び道内の外来種の実態について

北海道環境生活部環境局生物多様性保全課生物多様性戦略グループ
電 話 011-204-5987
FAX 011-232-6790

環生ー7 外来種による被害を防止するためにー2 (アライグマを目撃した場合には、市町村へ通報してください)

本道では、外来種であるアライグマが野生化し、道内各地で目撃されており、農業等被害が拡大しているほか、釧路湿原や知床など重要な自然地域においても生息が確認され、野鳥の卵やザリガニなど節足動物を捕食することなどによる生態系への影響、感染症の媒介などによる人の健康への被害が懸念されています。

アライグマは繁殖力が強く、現状をそのまま放置すると、生態系への被害など取り返しのつかない事態を招くおそれがあることから、道や市町村などでは、最終目標である「野外からの排除」を目指し、アライグマの捕獲などの取組を実施しています。

豊かな本道の自然環境を保全するため、皆様のご理解をお願いします。

また、アライグマは、住宅の屋根裏や物置、畜舎などにも棲み着く可能性があります。

アライグマを見つけた場合には、餌付けなどを行わずに、お住まいの市町村へ連絡してください。

参考ホームページ：

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/alien/araiguma/araiguma_top.htm

【問い合わせ】

環境生活部環境局生物多様性保全課生物多様性戦略グループ

電 話 011-204-5987

FAX 011-232-6790

各総合振興局・振興局保健環境部環境生活課自然環境係

環生－8 動物を遺棄することは犯罪です

犬や猫などの愛護動物を遺棄することは、動物の愛護及び管理に関する法律第44条第3項の規定により、100万円以下の罰金を科せられる「犯罪」にあたります。

やむを得ない事情で愛護動物の飼育が困難な場合は、知人・友人に新しい飼い主を紹介してもらったり、ポスターを掲示して飼い主を募集するなど、自ら新しい飼い主を探すことが飼い主の責務です。

参考ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/aigo/sutepet.htm>

【問い合わせ】

環境生活部環境局生物多様性保全課動物管理グループ

電 話 011-204-5205

FAX 011-232-6790

各総合振興局・振興局保健環境部環境生活課自然環境係

環生一〇 ペット動物に所有者明示措置を徹底しましょう (マイクロチップの装着をお勧めします)

動物愛護法及び条例では、ペット動物の飼い主に、その動物が自分の所有であることを明らかにするための措置（所有者明示措置）を講じるよう定めています。

所有者明示措置の方法としては、首輪などで飼い主の氏名や連絡先がわかるようにしておくことが一般的ですが、個人情報保護の観点などから必ずしもこれらの措置が徹底されません。

このために、迷い犬や猫などを収容している道や市町村では、飼い主がわからないために多くの犬・猫を処分せざるを得ない状況となっており、その数は全道で毎年約2千頭にも及びます。

また、平成12年の有珠山噴火災害では、避難などで飼い主と離ればなれになり、飼い主のもとに戻れない犬・猫が多くいました。

このような状況を改善するため、平成17年6月に動物愛護法が改正され、ペット動物への所有者明示を推進することとなりました。

所有者明示の方法として推奨されているのが、「マイクロチップ」の装着です。

マイクロチップは、直径約2mm、長さ12mmほどの小さなICチップで、注射器で動物の皮下に埋め込みます。

装着時以外に痛みはなく、生涯脱落せず、人為的に取り外すこともできないので、動物の所有者明示措置として世界中で使用され、国内でも140万頭以上の犬猫に使用されています。

マイクロチップには世界中でただ一つの番号が記録されており、装着した動物に保健所や動物病院等で読み取り機をかざし、読み取った番号から飼い主がわかる仕組みなので、個人情報も保護されます。

道では、収容された犬・猫ができるだけ飼い主のもとに戻れるように、平成18年から、すべての道立保健所・支所で犬・猫のマイクロチップの読み取りを行っています。

ペット動物が飼い主といつまでも幸せに暮らせるように、マイクロチップの装着をお勧めします。

マイクロチップの装着をご希望の方は、最寄りの動物病院にご相談ください。

【問い合わせ】

環境生活部環境局生物多様性保全課動物管理グループ

電話 011-204-5205

FAX 011-232-6790

各総合振興局・振興局保健環境部環境生活課自然環境係

環生－１０ 新しい飼い主探しネットワーク事業について

北海道では、各道立保健所で引き取った犬・猫にできるだけ生存の機会を与えるため、「新しい飼い主探しネットワーク事業」を実施しています。この事業は、各総合振興局・振興局が、犬・猫を飼いたいと希望する方をあらかじめ登録しておき、引き取った犬・猫の性別などの情報と登録者の希望を照合して、最適な飼育者をコーディネートし、犬・猫を譲渡するものです。新しい飼い主になるには、毎日の世話ができるか、猫は室内で飼えるか、愛情を持って最後まで飼い続ける意志があるかなどの条件を満たしていることが必要です。少しでも多くの命を救うため、これから犬・猫を飼いたいと考えている方は、ご協力をお願いします。譲り受けの申し込み方法などについては、最寄りの総合振興局・振興局環境生活課へお問い合わせください。

参考ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/sizenhome/henkanjyouto.htm>

【問い合わせ】

環境生活部環境局生物多様性保全課動物管理グループ

電話 011-204-5205

FAX 011-232-6790

各総合振興局・振興局保健環境部環境生活課自然環境係

環生－11 1月30日は「世界自然遺産・知床の日」

1月30日は「世界自然遺産・知床の日」です。

知床は流氷の影響を受けた海と陸の生態系の豊かなつながりが高く評価されて、平成17年に世界自然遺産に登録されました。道では遺産登録10周年を契機として、知床の自然環境をよりよい形で将来の世代に引き継いでいくため、知床の価値について改めて考える日として、毎年1月30日を「世界自然遺産・知床の日」としました。

※1月30日は知床の豊かな生態系を支える出発点として重要な意味を持つ「流氷」にちなみ、遺産登録年の知床における流氷接岸初日です。

道では、1月30日を中心として、道民の皆様に「知床の顕著な普遍的価値」についての理解を深めていただくために、普及啓発事業を行う予定です。

知床世界自然遺産については下記ホームページをご覧ください。

○ 参考ホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/ssi/mokuji.htm>

【問い合わせ】

環境生活部環境局生物多様性保全課自然公園グループ

電 話 011-204-5204

FAX 011-232-6790

環生－12 北海道地球温暖化防止活動推進員の派遣制度について ～異常気象や省エネ！推進員がお伝えします～

最近の異常気象について知りたい！お得な省エネ情報を知りたい！と考えている方にお知らせです。

北海道には、地域や自治体での勉強会、学校での環境学習、企業での社員研修会などへの講師の無料派遣や、温暖化に関するセミナーやシンポジウムなどについて企画段階からアドバイスをする地球温暖化防止活動推進員派遣制度があります。

推進員は、知事が委嘱した地域の温暖化問題のエキスパート。ご自身の知識や活動経験を生かし、『温暖化のこと』『暮らしの中で私たちができること』をわかりやすく皆さんにお伝えします。

推進員の派遣を希望される方(会合等主催者)は、最寄りの総合振興局・振興局環境生活課にお気軽にご相談ください。

詳しくは、<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/suishinin.htm>をご覧ください。

推進員派遣制度のお申し込み先

～各総合振興局・振興局環境生活課地域環境係窓口～

空知	0126-20-0041	石狩	011-204-5822
後志	0136-23-1352	胆振	0143-24-9575
日高	0146-22-9252	渡島	0138-47-9437
檜山	0139-52-6493	上川	0166-46-5920
留萌	0164-42-8432	宗谷	0162-33-2920
林-岬	0152-41-0628	十勝	0155-26-9027
釧路	0154-43-9152	根室	0153-23-6821

【お問い合わせ先】

環境生活部環境局低炭素社会推進室

電話 011-231-4111 (内線24-235)

直通 011-204-5189

FAX 011-232-1301

環生－13 安全・安心どさんご運動に参加しましょう

道内における、平成29年10月末の刑法犯認知件数は、24,221件で、前年同期と比べると3,569件減少しています。

しかし、特殊詐欺、子供や女性に対する犯罪、車上ねらい、タイヤ盗難など、私達の身近なところで起こる犯罪が発生しており、決して安心できる状況にはありません。

道では、道民の方々が安全で安心して暮らせる犯罪のない地域づくりを進めていくために、「安全・安心どさんご運動」を推進しています。

この運動は、防犯に限らず、交通安全や防災、教育などの幅広い分野に関わる機関・団体及び道民の皆さんの自主的な活動を通じて、人や地域、社会の絆を強め、コミュニティの力を高めることにより、誰もが安全で安心して暮らせる地域社会を築いていこうとする道民運動です。

○推進主体 北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議
(事務局：道、道警察、道教委)

○重点取組

- ①子どもの安全を見守る運動
- ②あいさつ、みまもり、たすけあい運動

「あいさつ」は、最も身近で、誰もが実践できるコミュニケーションのきっかけとなり、「あいさつ」はやがて、人と人との絆や信頼関係を強め、犯罪を寄せつけない地域づくりに効果を発揮します。

いつでも、どこでも、誰にでもできる「あいさつ」からはじめてみませんか。

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課安全安心グループ

電話：011-231-4111

FAX：011-232-4820

環生－14 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺の防止

道内における平成29年10月末現在の特殊詐欺の認知件数は229件で、前年同期と比較して77件増加し、被害額については、約5億2,200万円と前年同期と比べ約1億8,500万円増加しています。

手口別にみると、身内などになりすますオレオレ詐欺や郵送やメールで、アダルトサイトの登録料金が未払いであるなど架空の事実を口実にして料金を請求する架空請求詐欺が多数を占めています。

被害に遭われた方の年齢層について、高齢者（65歳以上）の割合は、全体の約6割を占めており、憂慮すべき状況にあります。

道民一人ひとりが被害に遭わないように注意するとともに、家庭や職場、地域の中でお互いが声を掛け合い、「振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺」の被害をなくしましょう。

特殊詐欺とは

被害者と対面せず、架空・他人名義の預貯金口座や携帯電話等を利用し、現金等をだまし取る詐欺の総称をいい、振り込め詐欺も含まれています。

◇振り込め詐欺以外の特殊詐欺の例◇

○ 金融商品等取引の詐欺

架空又は価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨等について、電話やダイレクトメール等により虚偽の情報を提供し、購入すれば利益が得られるものと誤信させ、購入を申し込んできた被害者に有価証券等の購入名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口

○ ギャンブル必勝情報提供の詐欺

不特定多数の者が購読する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信するなどし、これに応じて会員登録等を申し込んできた被害者に対して、パチンコ攻略法等の虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や情報料の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口

○ 異性との交際あっせんの詐欺

不特定多数の者が購読する雑誌に「女性紹介」等と記載したり、不特定多数の者に対して同内容のメールを送信するなどし、これに応じて女性の紹介等を求めてきた被害者に対して、女性に関する虚偽の情報を提供するなどした上で、会員登録料や保証金等の名目で現金を口座に振り込ませるなどの手口

◇ 落ち着こう、振り込む前に相談を

「電話番号が変わった」「先に保証金を支払え」「必ずもうかる」は詐欺

振り込め詐欺は、被害者の弱みや親子の情愛などにつけ込んで被害者をだまし、現金を振り込ませる悪質な犯罪です。

不審な電話がかかってきたり、身に覚えのないメール等が送られてきたら、警察や家族に相談しましょう。

被害防止のポイント

- 「電話番号が変わった」という電話は詐欺です。必ず変更前の電話番号に電話を掛けてみましょう。
- 万が一被害に遭った場合にも被害額を最小限にするために、一日当たりのATM利用限度額を引き下げるようにしましょう。
- 「留守番電話作戦！」
在宅している時も物理的に犯人からの電話を遮断するためにも留守番電話に設定しましょう。
- オレオレ詐欺は、主婦や高齢者の子どもや孫への親愛の情を逆手に取る犯罪です。家族間で相互に連絡を取り合い「家族の絆」で被害を防止しましょう。

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課安全安心グループ

電話：011-231-4111（直通）

FAX：011-232-4820

環生－15 車上ねらいに注意！

車内から金品を盗んでいく「車上ねらい」は、一年を通じて発生しており、車内にバッグ等を置いていれば、貴重品が入っていなくても犯人はガラスを割ってその中身を確認します。

被害防止のため、車両を離れる際は、確実に鍵をかけるとともに車内にバッグなどを置かないように心がけましょう。

被害防止のポイント

- ◇ 車内に貴重品やバッグなどを放置しない
(泥棒は物があれば何でも盗んでいきます)
- ◇ 車を離れるときは短時間でも必ず施錠する
(泥棒はドアを開けて遠慮なく物を盗んでいきます)
- ◇ 明るく人目につく駐車場を利用する
(泥棒が仕事をしやすい場所は要注意！)

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課安全安心グループ

電話：011-231-4111（直通）

環生－16 タイヤの盗難に注意！

タイヤ盗難は、例年タイヤ交換時期に被害が増加する傾向にあります。
また、盗難被害に遭う多くは、「無施錠」の物置や車庫から盗まれています。
被害防止のため、タイヤの保管には十分に注意しましょう。

被害防止のポイント

- ◇ かぎのかかる場所に保管して必ず施錠を！
タイヤ盗難の多くは「無施錠」の物置や車庫から被害に遭っています。
必ず施錠をしましょう。
- ◇ タイヤを鎖などで連結して施錠をする！
4本を一つにまとめることで、犯人が「盗みづらい状況」を作りましょう。
- ◇ 目につかない場所で保管しましょう！
野外に保管する場合は、犯人の目につかないところ、つまりは犯人が簡単に盗み出せない場所で保管しましょう。
- ◇ センサーライト等の防犯機器を活用する！
盗難防止には、センサーライトが有効です。泥棒の嫌う「光」でタイヤを守りましょう。

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課安全安心グループ

電話：011-204-5211（直通）

FAX：011-232-4820

環生－17 犯罪被害にあったときには

北海道では、犯罪により被害にあわれた方やご家族の方の相談に応じ、必要な情報提供等を行う相談窓口を設置しています。

被害にあったときには、一人で悩まないで、ご相談ください。

相談は無料です。（通話料はかかります。）

○北海道犯罪被害者等総合相談窓口

（公益社団法人北海道家庭生活総合カウンセリングセンター 北海道被害者相談室）

- ・電話相談受付 平日 10時～16時（12/29～1/3を除く）
（ファクシミリ・メール相談は24時間受け付けています。）
- ・電話相談 011-232-8740
- ・ファクシミリ 011-211-8151
- ・メール相談
（公社）北海道家庭生活総合カウンセリングセンターのホームページをご覧ください。
メール相談の入力フォームとファクシミリの相談用紙があります。
http://www.counseling.or.jp/contents/introduction/introduction_02.html#01
- ・面接相談 上記の電話にお申し込みください。

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課安全安心グループ

電話：011-204-5211（直通）

FAX：011-232-4820

環生－18 性暴力被害にあったときには

性暴力被害者支援センター北海道（通称：さくらこ SACRACH）では、性暴力の被害にあ

われた女性の相談に応じ、必要な支援を行う相談窓口を開設しています。

被害にあったときには、一人で悩まないで、ご相談ください。

相談は無料です。（通話料はかかります。）

○性暴力被害者支援センター北海道（通称：さくらこ SACRACH）

- ・電話相談受付 平日 13時～20時（12/29～1/3を除く）
- ・電話相談 050-3786-0799サーナヤムなオンナキョウキョウ
- ・面接相談 上記の電話にお申し込みください。
- ・付添支援 電話又は面接相談をご利用の方には、関係機関（医療機関、弁護士、警察、行政機関など）への付き添い支援を行います（札幌市及びその近郊に限ります）。
- ・協力機関の紹介 産婦人科、精神科、弁護士等、性被害を理解している協力機関へご紹介します。

詳しくはホームページをご覧ください <http://sacrach.jp>

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課安全安心グループ

電話：011-204-5211（直通）

FAX：011-232-4820

環生一19 交通事故のない明るい1年を

新しい年が始まりました。

今年も、道民の皆さん一人ひとりが交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践し、交通事故のない安全で安心な社会を目指しましょう。

これからの時期は、寒さも厳しく、冬型の交通事故が増加します。

運転者も歩行者もお互いに注意して、交通事故のない明るい年にしましょう。

[ドライバー、同乗者の皆さんへ]

- 住宅地や学校の近く、商店街など、道路脇に雪山がある場合には、その陰から横断してくる歩行者に備えた運転をしましょう。
また、吹雪や雪煙の中を横断する歩行者にも注意しましょう。
- 急ブレーキ、急ハンドル、急加速など「急」のつく運転をしないよう心がけましょう。
- 冬道の交差点付近は非常に滑りやすいアイスバーンになっています。
いつでも停止できる態勢で交差点に接近し、安全を確かめて走行することが大切です。
- 下り坂やカーブの手前では、あらかじめ十分に減速しましょう。
- 「疲れ」を感じた時は、運転を中止して休憩し、居眠り運転やうっかりぼんやり運転による交通事故を防止しましょう。
- シートベルトはもしもの時の命綱です。
「近所までだから」、「慣れている道だから」と油断せず、後部座席を含めたすべての座席でシートベルトを必ず着用しましょう。
また、6歳未満の幼児を乗車させるときは、必ずお子様の体格にあったチャイルドシートをしっかりと取り付け、ゆるみなどが生じないように着用させましょう。
- デイ・ライト（昼間点灯）は自らの車の存在を他の車両や歩行者、自転車の利用者に見立てることで、交通事故の防止を図る効果が期待できるので、率先して実践しましょう。
- 夜間、先行車や対向車がないときは、ライトをハイビームにしましょう。
- 飲酒運転は重大な犯罪です。飲酒が予想される場所には車で出掛けないようにしましょう。
また、周りの皆さんも運転者が飲酒することのないよう注意しましょう。
- 北海道では「飲酒運転根絶ロゴマーク」を作成して飲酒運転の根絶に向けた取組を進めています。これは北海道と道路標識をモチーフとした車の中に、「お酒」と飲酒運転根絶の願いを込めた「NO!」の文字を盛り込んだデザインとなっています。
飲酒運転根絶ロゴマークの使用をご希望の方は公益社団法人北海道交通安全推進委員会のホームページから申し込んでください。（原則無料です。）

[歩行者の皆さんへ]

- 夜間に外出するときは、明るい色の服装と夜光反射材を着用しましょう。
- 道路を横断しようとしている子供や高齢者を見かけたときは、積極的に声をかけるなど、安全に誘導してあげましょう。
- 道路やその付近で遊ぶ子供を見かけたときは、安全な場所で遊ぶように声をかけ、子供を交通事故から守りましょう。

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課交通安全グループ

電話：011-204-5219（直通）

FAX：011-232-4820

環生－２０ 冬期間の踏切事故防止のために

- 踏切に近づいたら路面状況に応じ、確実に一旦停止できるスピードに落としましょう。
- もし、通過中に遮断ポールが下がったら、遮断ポールを自動車等で押し出して脱出してください。ポールは、斜めに上がります。
- もし、踏切の中で立ち往生したら、慌てずにまず列車を止めてください。
 - ☆ 非常ボタンがあるときは、警報機が鳴っていないくともすぐにボタンを押してください。
 - ☆ 非常ボタンがないときは、自動車に備え付けの発煙筒や赤旗などで列車に合図してください。
 - ☆ 警報機が鳴り始めてから約３０秒後に列車が来ます。

【問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課交通安全グループ

電話：０１１－２０４－５２１９（直通）

FAX：０１１－２３２－４８２０

環生－２１ 交通事故相談所をご利用ください

交通事故相談所では、専門の相談員が交通事故で困っている方々のご相談に応じています。相談は、電話、面接（予約制）、文書等で受け付けています。

○ 北海道交通事故相談所

０１１－２０４－５２２０（直通）

電話 ０５０－３５３３－４７０３（直通）

※札幌市、江別市、北広島市、南幌町以外にお住まいの方は通話料がお得です。

FAX：０１１－２３２－７４５２

相談時間：月～金曜日 午前９時～午後５時

（受付時間：午前９時～午後４時３０分）

〒０６０－８５８８ 札幌市中央区北３条西６丁目 道庁１階

なお、次の総合振興局でも巡回相談（面接）を実施しますので、日程等につきましては環境生活部くらし安全局道民生活課交通安全グループホームページでご確認いただくか各相談所へお問い合わせください。（<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/kat/index.htm>）

総合振興局	住 所	問い合わせ電話
空知総合振興局 交通事故相談所	〒０６８－８５５８ 岩見沢市８条西５丁目 保健環境部環境生活課	(０１２６) ２０－００４４
渡島総合振興局 交通事故相談所	〒０４１－８５５８ 函館市美原４丁目６－１６ 保健環境部環境生活課	(０１３８) ４７－９４３５
上川総合振興局 交通事故相談所	〒０７９－８６１０ 旭川市永山６条１９丁目 保健環境部環境生活課	(０１６６) ４６－５９２３
オホーツク総合振興局 交通事故相談所	〒０９３－８５８５ 網走市北７条西３丁目 保健環境部環境生活課	(０１５２) ４１－０７８３
釧路総合振興局 交通事故相談所	〒０８５－８５８８ 釧路市浦見２丁目２－５４ 保健環境部環境生活課	(０１５４) ４３－９１５１
(十勝総合振興局)	帯広市東３条南３丁目 保健環境部環境生活課	(０１５５) ２６－９２４９

【総合問い合わせ】

環境生活部くらし安全局道民生活課交通安全グループ

電 話：０１１－２０４－５２１９（直通）

FAX：０１１－２３２－４８２０

環生－２２ 青少年の安心安全なスマートフォン等の利用について

近年、スマートフォンやタブレット等（以下「スマートフォン等」という。）を使用したオンラインゲームやSNSなどのコミュニティサイトの利用をきっかけとして犯罪被害に遭う青少年が増加しています。また、インターネットの過度の利用により生活習慣に悪影響を及ぼす、いわゆる「ネット依存」が社会問題となっています。

保護者の皆さまにおいては、お子さまが安全に安心してスマートフォン等を利用できるように、フィルタリングサービスの利用を徹底するとともに、日ごろからインターネットの危険性などについて家族で話し合い、深夜の時間帯は使用しないなどの家庭内のルールづくりに努めましょう。

- ◆ インターネットを介した犯罪や有害情報から子どもたちを守るため、保護者の皆さまが、インターネットの利用に潜む危険性を認識するとともに、ネット上に溢れる有害情報についての理解を深めることが必要です。
 - ◆ お子さまにスマートフォン等を持たせる時は、事前にインターネット利用に潜む危険性を子どもたちにしっかりと理解させ、特定の時間帯は使用しない、使用する際は居間で使用するなど、家庭内のルールづくりに努めましょう。
 - ◆ また、契約の際には、携帯電話事業者等が提供するフィルタリングサービスや無線LAN（Wi-Fi）接続に対応したフィルタリングソフトを利用し、インターネット上の有害情報へのアクセスや、犯罪被害を予防しましょう。詳しくはホームページをご覧ください。
- フィルタリングに関する情報は・・・
携帯電話等のフィルタリングについては、各携帯電話事業者にお問い合わせください。
 - 安全なインターネット利用に関する情報は・・・
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/seisyonen/conso/u-gai-top.htm>
 - 北海道青少年健全育成条例に関する情報は・・・
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/seisyonen/ikusei/jyoureinokaisei.htm>

【問い合わせ先】

環境生活部くらし安全局道民生活課青少年グループ

電話 011-204-5663（直通）

FAX 011-232-4820

環生－23 「男女平等参画社会」を実現しましょう

ジェンダーとは・・・

男女の生物学的な性別ではなく、「女らしさ、男らしさ」や「男は仕事、女は家庭」といった、社会的、文化的につくられた性別意識をいいます。

例えばこのように考えたこと（経験したこと）はありませんか？

<学校では>

- ？・女の子は優しく、男の子はたくましく育てた方がよい。
 - ・「男のくせにメソメソするんじゃない！」と言われた。
 - ・「男子が先で当たり前」と何となく思っていた。
 - ・教室に花を生ける係は女子がするべきだ。
 - ・赤いランドセルは女の子が、黒いランドセルは男の子が持つものだ。
 - ・保育士や看護師は女性の仕事であり、男性には向いていない。

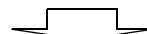


○「たくましさ・優しさ」などの性質は、女の子にも男の子にもある性別に関わらない個性です。子どもたちが自分の能力や個性を發揮して様々なことにチャレンジできる環境をつくるのが大切です。

また、固定観念で性別による職業の向き、不向きを子どもたちに押しつけると、個人の生き方を狭め、能力を發揮するチャンスを奪ってしまうかもしれません。一人ひとりの個性や能力に合った生き方ができるよう、固定的な意識が障害とならないようにしましょう。

<家庭では>

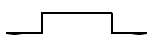
- ？・家族の介護は妻の役割だ。
 - ・父親は一家の中心だから、大黒柱として家庭を支えるのは当然だ。
 - ・世帯主が父親なのは当たり前だ。
 - ・結婚したら、妻は夫の姓を名のるべきだ。
 - ・男性が洗濯物を干したりスーパーで買い物をするのは格好悪い。



○家庭での仕事を一人に押しつけると、心理的負担は増大します。家庭生活を営むうえで女性にとっても男性にとっても家事は大切な仕事です。性別によって能力や役割を決めつけず、家事・育児・介護など家族みんなで協力して行いましょう。

<職場では>

- ？・育児休業を取りたくても「奥さんがいるのに何で君が？」と取れなかった。
 - ・「男は弱音を吐くべきでない」との思いから、悩み事を相談できずにいた。
 - ・女性しか事務所にいないと「だれもいないのか？」と言う。
 - ・「女性にはまかせられない」「うちの女の子」などと言う。



○育児休業は女性も男性も取得できます。

職務分担の固定化は、意欲と能力を持ち合わせた個人の活躍の場を狭めてしまいます。

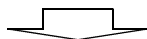
男女が協力して双方の視点を活かし、個人の能力を十分に發揮できる職場にしましょう。

育児・介護等に関わることで仕事と家庭・地域活動等バランスの取れた生活を送ることができます。

<地域では>

? ・ 会合などでお茶を入れるのは女性だ。

- ・ 行事などでは女性が料理や会場の準備、後片付けなどをすることが多い。
- ・ 自治会の役員は、男性が務めることが多い。
- ・ 葬式の喪主は男性が務める。



○地域の活動で何気なく女性と男性の役割が決まっていますか?性別にとらわれず、さまざまな人が活動に参加し、意見が反映されることにより、活力ある住みよいまちづくりが進みます。

また、慣習やしきたりの中にはジェンダーと思われるものが少なくありません。時代に合わせて、慣習やしきたりも柔軟に変化させていきましょう。

※男女平等参画社会とは

男女が、その人権を尊重され、社会の対等な構成員として、社会的、文化的に形成された性別にとらわれず、自らの意思によって、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されることにより、男女が平等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会。

【お問い合わせ先】

環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室男女平等参画グループ

電話 011-204-5217 (直通)

FAX 011-232-4820

環生－24 配偶者等からの暴力に悩んでいませんか

たとえ相手が、夫や妻など身近な関係にあったとしても、暴力は犯罪です。他人ではないから何をしてもいいという理由で見過ごされてしまいがちですが、どんな間柄でも暴力は許されません。

相手の暴力を、自分のせいだと思いこんでしまう場合があります。「私が悪いから…」などと自分を責めないでください。

恥ずかしいことと思ったり、家族に迷惑がかかると気にすることにより、被害が表に出にくくなる場合があります。さらに子どもに及ぼす影響は計り知れません。

一人で悩まずに相談しましょう。

《配偶者暴力相談支援センター》

道立女性相談援助センターのほか、道庁及び各総合振興局・振興局では、配偶者暴力被害者のご相談に応じ、一時保護など必要な情報の提供やカウンセリング等関係専門機関の紹介を行っています。

道立女性相談援助センターでは、被害者などの一時保護やカウンセリングも行っており、緊急の一時保護は夜間・休日も対応しています。

○道立女性相談援助センター

相談電話 011-666-9955

※相談時間は、月～金 9時～17時 / 17時30分～20時

土日祝 9時～17時（年末年始除く）

○北海道環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室男女平等参画グループ

相談電話 011-221-6780

※相談時間は、月～金 9時～17時（祝日・年末年始を除く）

○各総合振興局・振興局（保健環境部環境生活課）

空知総合振興局 電話 0126-25-5648 上川総合振興局 電話 0166-46-5081

石狩振興局 電話 011-232-4760 留萌振興局 電話 0164-43-0011

後志総合振興局 電話 0136-22-5838 宗谷総合振興局 電話 0162-33-3399

胆振総合振興局 電話 0143-22-5286 林-岬総合振興局 電話 0152-45-0500

日高振興局 電話 0146-22-2921 十勝総合振興局 電話 0155-26-9029

渡島総合振興局 電話 0138-47-5789 釧路総合振興局 電話 0154-41-1110

檜山振興局 電話 0139-52-5785 根室振興局 電話 0153-24-5756

※相談時間は、月～金 9時～17時（祝日・年末年始を除く）

○その他専用電話

※DV被害男性は、下記の電話でも相談できます。

011-661-3210 【月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始を除く）】

【お問い合わせ先】

環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室男女平等参画グループ

電話 011-204-5217（直通）

FAX 011-232-4820

環生－25 北海道男女平等参画苦情処理委員制度について

1 制度の概要

北海道における男女平等参画社会を実現するため、「北海道男女平等参画推進条例」に基づき、「北海道男女平等参画苦情処理委員（以下「苦情処理委員」という。）」男女各1名を任命しています。

この苦情処理委員（弁護士・人権擁護委員）は、道民や事業者からの男女平等参画に関する苦情等の申し出を、個人のプライバシーの保護に十分留意しながら、公平・中立な立場で適切な助言を行う、いわゆる相談機能を持つほか、男女平等参画に係る道の施策について、関係する道の機関に対し、参考となる苦情処理委員個人の所見を述べることにより、道の機関の自主的な改善を促すという機能を持つ第三者機関です。

なお、上記の「道の施策」とは、道の機関が行う業務のうち、道民等を対象にした様々な分野における男女平等参画に関する施策のことをいい、個々の道職員の言動、個々の道民等に対して行った許認可、審査、取締、紛争処理又はこれらに類する行為などは含まないこととしています。

2 申出方法

苦情等の申出を行う場合、次の事項を記載した書面を提出してください。

- ① 氏名及び住所（法人その他の団体にあつては、名称、事務所又は事業所の所在地及び代表者の氏名）
- ② 申出の内容及び理由
- ③ 上記①及び②のほか、調査等に当たって参考となるべき事項

3 申出・問い合わせ窓口

郵送・FAX、インターネットで申し出てください。（匿名、電話での申し出は受けていません。）

環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室男女平等参画グループ

FAX 011-232-4820

ホームページアドレス <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dms/djb/index.htm>

各総合振興局・振興局（保健環境部環境生活課）

【お問い合わせ先】

環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室男女平等参画グループ

電話 011-204-5217（直通）

FAX 011-232-4820

環生一26 女性の活躍支援センターについて

女性の活躍支援センターは、女性の就業や起業、子育て、介護など様々なライフステージにおける悩みに対し、幅広い経験を持つ女性支援員などが、コンシェルジュとして支援機関や支援制度を紹介するなど面談や電話により相談支援を行います。

また、相談内容に応じて検討チームを組み、問題解決に取り組みます。

○ 女性の活躍支援センターの概要

場所 札幌市中央区北2条西7丁目 かでの2・7 6階

相談時間 月火木金 10時～16時 水土 10時～13時
(休館日 日祝、年末年始)

相談電話 011-204-5711

相談FAX 011-232-8972

○ 女性の活躍ポータルサイト

- ・ 北の女性☆元気・活躍・応援サイト

<http://www.l-north.jp/katsuyaku/>

○ フェイスブック

- ・ 北の女性★元気活躍交流ひろば（交流グループ）

<https://www.facebook.com/groups/998064940258291/>

【お問い合わせ先】

環境生活部くらし安全局道民生活課女性支援室活躍推進グループ

電話 011-206-6954（直通）

FAX 011-232-4820

環生一27 「北海道博物館」1月行事のご案内

◇北海道博物館総合展示室内クローズアップ展示

- 期間 12月16日(土)～2月2日(金)
- 時間 9時30分～16時30分 入館は16時まで
- 場所 北海道博物館
- 内容 総合展示室では、普段紹介しきれない話題や資料を定期的に入れ替えて展示する「クローズアップ展示」を7箇所で開催しています。今回は以下の内容になります。「松前藩家臣近藤家の古文書」、「馬の肖像画家・畠中露山」、「祈りの造形-死者を悼む-」、「文字に記されたアイヌ語-1890年ごろの北海道庁の試み-」、「職人の道具と技術-馬具・蹄鉄-」、「札幌の百貨店」、「どこのウマの骨でしょう？」。
- 料金 一般600円、大学・高校生300円。
中学生以下、65歳以上、障害のある方は無料

1月の休館日：1～3日、月曜日(ただし8日は開館)、9日

【問い合わせ先】

北海道博物館

電話 011-898-0466

FAX 011-897-1865

URL <http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

☆交通機関でのアクセス

〔北海道博物館へのアクセス〕

○新札幌駅から—バスターミナル・のりば10(北レーン) ジェイ・アール北海道バス 新22「開拓の村」行きに乗車し、「北海道博物館」で下車

○森林公園駅から—森林公園駅東口のりば 新札幌駅からの上記バスが森林公園駅に寄ります ※駅から北海道博物館まで徒歩20～25分かかります

○大麻・江別方面から—ジェイ・アール北海道バス・夕鉄バス新札幌方面行きに乗車し、「厚別東小学校前」で下車(バス停から徒歩15分)

☆住所

札幌市厚別区厚別町小野幌53-2

TEL 011-898-0466 FAX 011-897-1865

作成：北海道博物館 学芸部道民サービスグループ

TEL011-898-0456 FAX011-898-2657

環生一28 「野外博物館 北海道開拓の村」 1月の行事のご案内

◇『冬の生活体験』

期日 1月6日(土)～3月中旬

※期間中2月5日(月)、2月12日(月)を除く毎週月曜と2月13日(火)が休み

時間 9:00～16:30

内容 昔の防寒服(カクマキ、マント、藁でつくった深ぐつなど)を身にまわって村内見学、カンジキ、木のスキーなどの昔の冬遊び体験、など無料で参加体験できます。昔の冬の暮らしを体験しませんか。

対象 どなたでも参加可能(随時参加体験可能)

料金 入場料のみ必要(馬そりは別途必要)

○開拓の村 情報

☆入村料金

一部(明記しているもの)を除き全て参加料は無料ですが、入村料が必要になります。

○年間パス『村民パスポート』 1,500円

○ 一般 800円(10名以上団体 700円)

○ 高校生・大学生 600円(10名以上団体 500円)

※中学生以下、65歳以上の方、身体に障害のある方は無料。

また、高校生は、毎週土曜日は無料

☆馬そり料金・・・大人(15歳以上) 250円

小人(3歳以上15歳未満) 100円

※運行日:3月までの土・日・祝日(天候状況により運休する場合有)

☆駐車場・・・400台収容無料駐車場有

☆休村日・・・毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

(祝日・振替休日の場合は翌日が休み 2018年2月5日(月)は臨時開村)

※5月～9月は無休

☆開村時間・・・10月～4月 9:00～16:30(入村は16:00まで)

☆アクセス・・・地下鉄・JR「新札幌駅」、新札幌バス・ミカ北バス10番乗り場から開拓の村行きバス乗車(約15分) 終点下車すぐ

☆住所・・・札幌市厚別区厚別町小野幌50-1 TEL 011-898-2692

ホームページ <http://www.kaitaku.or.jp>

メール info@kaitaku.or.jp

作成:一般財団法人北海道歴史文化財団 営業本部

TEL011-898-2692 FAX011-898-2694

メール n-matsui@kaitaku.or.jp

環生一29 「野幌森林公園 自然ふれあい交流館」1月の行事のご案内

◇観察会『はじめてのかんじきウォーク』

1月27日(土) 10:00~12:30

内 容：スノーシューを履いて、開拓の村から瑞穂の池を目指して冬の森を歩きます。(コース：開拓の村=瑞穂の池 往復約2km)

場 所：北海道開拓の村前(集合・解散)

対 象：スノーシュー初心者、未経験者

定 員：先着10名

申 込：事前申込必要(1月4日より電話受付)

持 物：防寒服、長靴手など

料 金：無料

備 考：北海道ボランティア・レンジャー協議会との共催事業

※対象に、特に記載のないものは、どなたでも参加・体験できるプログラムです。

○自然ふれあい交流館 情報

☆料 金・・・無料

☆駐 車 場・・・大沢口に無料駐車場(40台収容)

☆休 館 日・・・毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館します)

年末年始(12月29日~1月3日)

☆開館時間・・・10月~4月 9:30~16:30

☆アクセス・・・地下鉄・JR「新札幌駅」、新札幌バス・ミナル北線10番乗り場から
JR北海道バス【文京台循環線】乗車、『文京台南町』下車徒歩10分

☆住 所・・・江別市西野幌685-1

TEL 011-386-5832

HP <http://www.kaitaku.or.jp/nfpvc.htm>

メール nfpvc@kaitaku.or.jp

作成：一般財団法人北海道歴史文化財団 営業本部

TEL011-898-2692 FAX011-898-2694

メール n-matsui@kaitaku.or.jp

環生－30 「オホーツク流水科学センター」 1月の行事のご案内

オホーツク流水科学センターでは、1月中、次の行事を開催しておりますので、ぜひお越しください。

◇「コムケ写真展～コムケ案内人が出合った自然風景」

- ・内 容 紋別市郊外、オホーツク海に面した丘陵地帯にある野鳥の楽園コムケ湖。周辺には原生花園が広がります。「コムケの会」の会員が撮影した、コムケ湖の魅力を存分に味わえる写真展を開催しています。
- ・開催期間 1月4日（木）～2月4日（日）
- ・開催場所 多目的ホール
- ・その他 入場無料

【問い合わせ先】

北海道立オホーツク流水科学センター

紋別市元紋別11

電 話 0158-23-5400

FAX 0158-23-9844

<http://www.giza-ryuhyo.com>

環生－31 事故のない楽しいスキー等を

【スキー場において】

冬の代表的なスポーツ「スキー」「スノーボード」を楽しもうと、大勢の皆さんが、本道のスキー場を訪れています。

スキー場には、上級者から初心者まで技量の違う方が利用されていることに加えて、様々なスキーやスノーボードを使用する方々が混在しており、十分な注意が必要です。

また、スピードの出し過ぎなど自分勝手な滑りは、人との衝突や立ち木への衝突など大きな事故につながる恐れがあります。

皆さんが、安全にスキー等を楽しむために、次のことに十分注意しましょう。

- 滑る前にはウォーミングアップ、金具のチェックを忘れずに。
- 自分の技量や、斜面、雪質、天候などの状況に応じてコースを選び、無理な滑りはしないようにしましょう。
- 滑り始めるときや、他のコースに合流するとき、斜面を横切るときには、周りをよく確認し、他の人の滑りを妨げないようにしましょう。
追い越すときには、慎重に。
- グレンデの中央に立ち止まったり座り込んだりすることはやめましょう。
立ち止まるときはグレンデの端にいきましょう。
- 標識や掲示、注意事項を守り、パトロールの指示に従いましょう。
特に、滑走禁止区域への立ち入りは厳禁です。
- 風雪などで視界が不良のときは、無理をせず、スキー等を中止しましょう。

【スキー場区域外において】

近年、スキー場区域外で滑走するバックカントリーでの遭難事故が増えています。

区域外は、スキー場による安全管理は行われておらず、滑走は自己責任が問われます。

冬山登山と同様、各自が雪崩や遭難などの危険性を判断する知識や経験を身につけ、事故に遭わないための安全対策を講じる必要があります。

安全対策（例示）

- 天気予報、雪崩の危険性など最新の状況を確認しているか。
- 山の地理地形や危険箇所、目的地までのルートを把握しているか。
- GPSや携帯電話、十分な食料など冬山用の装備をしているか。
- 登山計画書（登山届）を提出しているか。 等

【問い合わせ先】

環境生活部文化・スポーツ局スポーツ振興課

電話 011-204-5209

FAX 011-232-8695

環生－32 厳冬期の釣りに伴う事故の防止について

積雪寒冷期を迎え、釣場が滑りやすくなり、また、冷え込みが厳しくなって、海への転落や暖を取る際の一酸化炭素中毒など、生命に関わる危険な事故が発生しやすくなります。

事故を未然に防止するため、次のことに注意して慎重な行動を心掛けて、安全に釣りを楽しみましょう。

○ 安全に楽しむために

- ・目的地、帰宅の時間などをあらかじめ家族や知人に連絡しておきましょう。
- ・単独行動はできるだけ避けましょう。
- ・目的地の気象状況を事前に確かめましょう。
- ・釣り場では、左右や後ろの人に十分注意しましょう。
- ・船、磯、港などで救命胴衣は常時着用しましょう。
- ・携行品には命綱、呼び子笛、懐中電灯、非常食、救急薬も加えてください。
- ・車やテントの中で暖を取る場合は、一酸化炭素中毒とならないよう、換気を十分行いましょう。
- ・凍った湖や沼などで釣りをする場合は、氷の薄い場所には近寄らないようにしましょう。

○ 自然を守るために

- ・捨てた針や糸による野鳥の被害が増えています。
- ・ビニール袋は、海や川を汚す大きな原因となっています。ゴミは必ず持ち帰りましょう。

○ 資源の保護のために

- ・小さな魚は放流し、海藻類、貝類などを取ることはやめましょう。

○ トラブルを防ぐために

- ・無秩序な駐車、ゴミの不法投棄などで漁業者や地元の人に迷惑をかけないようにしましょう。

【問い合わせ先】

環境生活部文化・スポーツ局スポーツ振興課

電話 011-204-5209

FAX 011-232-8695